

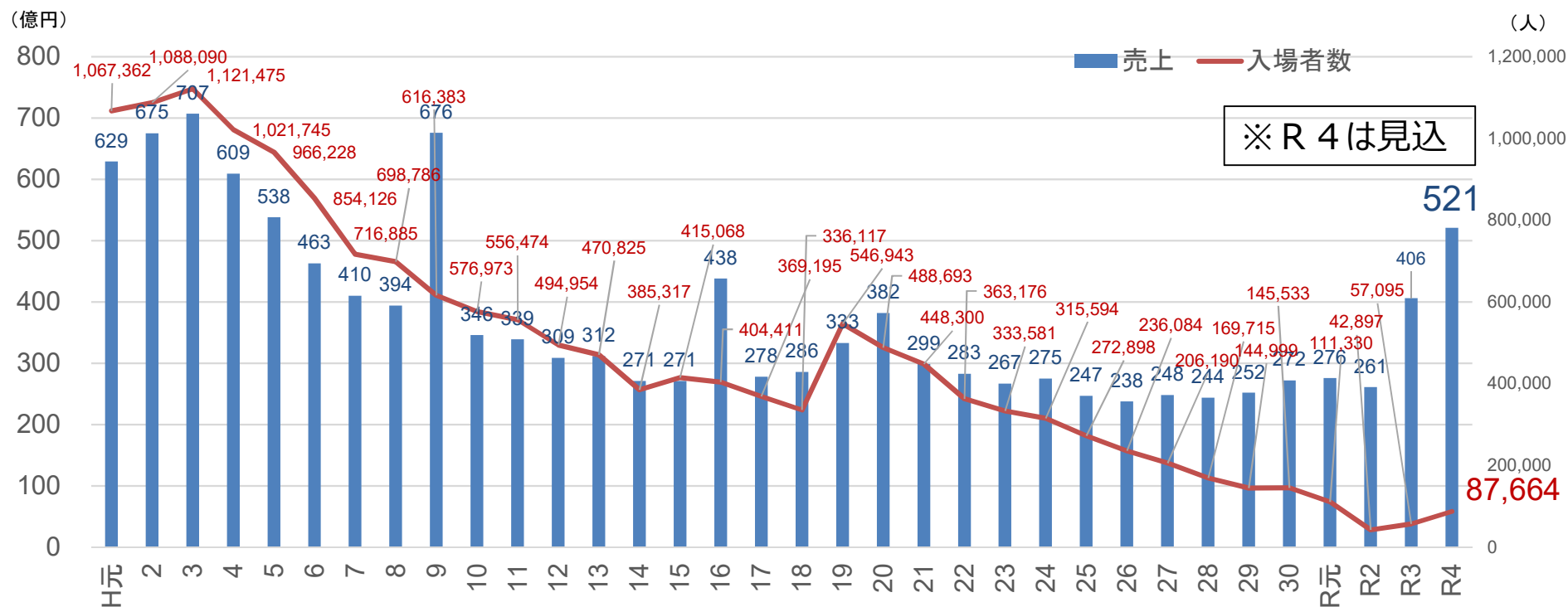
第7回 埼玉県競輪事業検討委員会 資料

「県営競輪の売上及び課題への対応状況について」

本場売上について①(売上・入場者数推移)

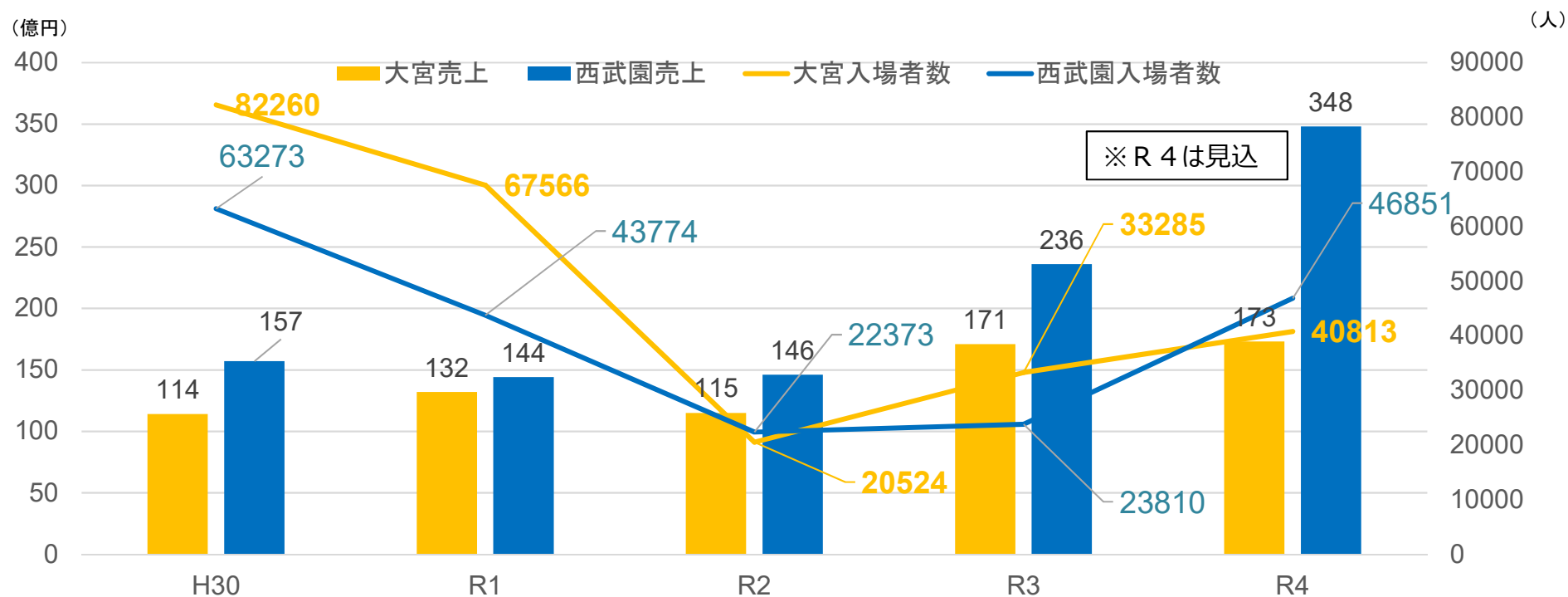
※本場売上には5重勝式、Dokantolは含まない。

- 令和4年度売上は約521億円の見込み。
- 令和4年度入場者数は約8万8千人の見込み。



本場売上について②(場別の売上・入場者数推移)

- オールスター競輪（G I）開催の影響等により西武園の方が売上が高い。
- 入場者数は、両場とも令和3年度より増加見込み。

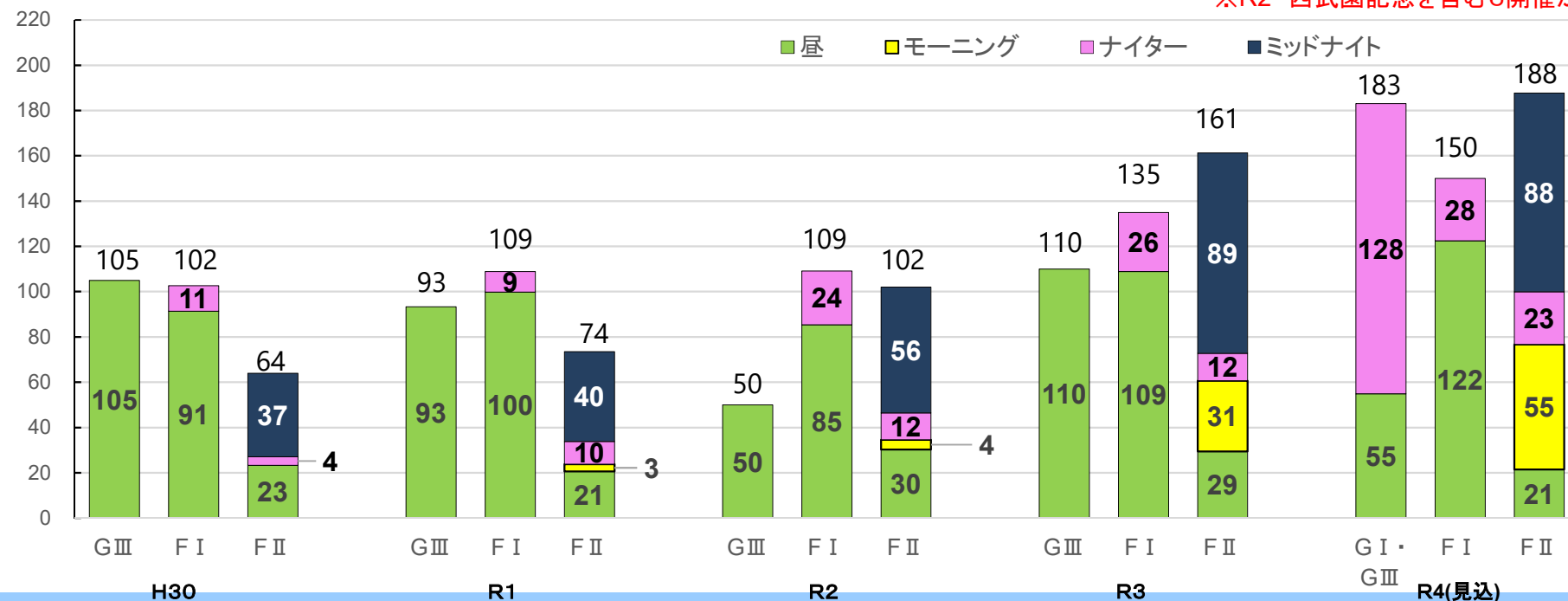


本場売上について③(売上推移／グレード・開催形態別)

- 令和4年度はオールスター競輪（GⅠ）を開催し、Gグレードの売上が大きく増加。
- FⅡの売上も増加しており特に、モーニングなどネット売上の高い開催の売上が増加。

(億円)

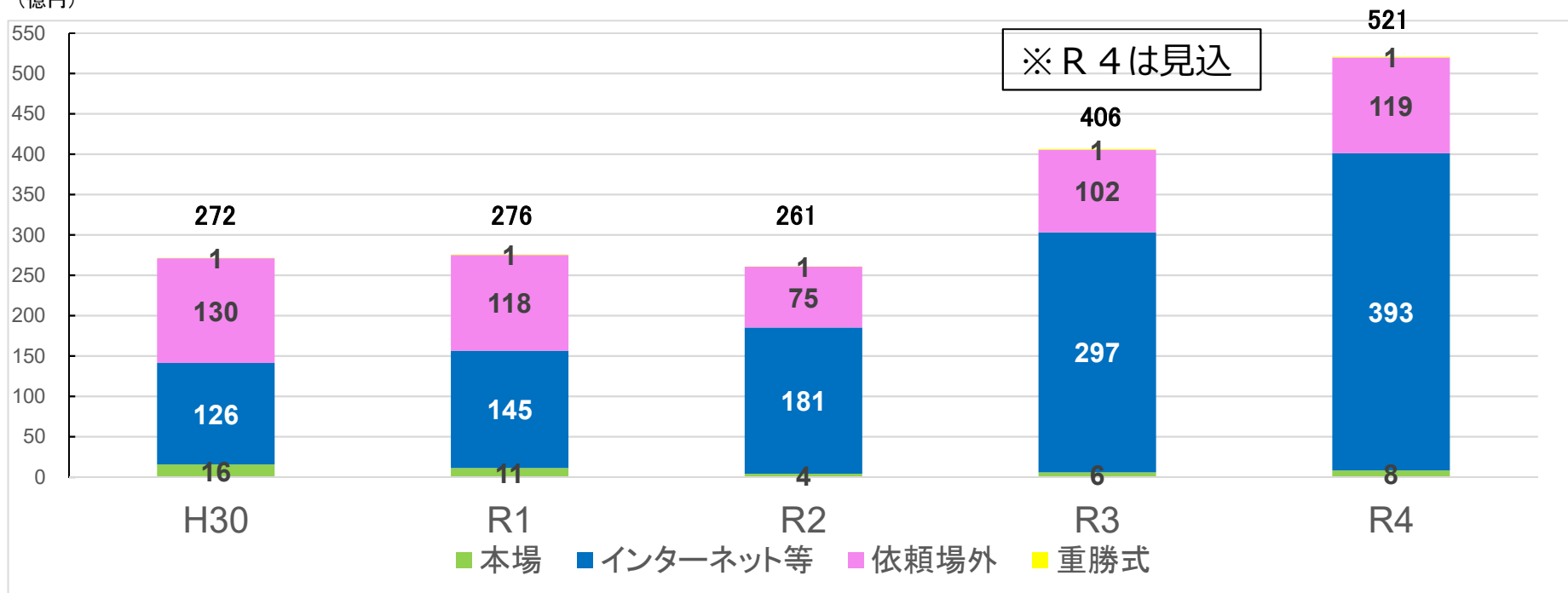
※モーニングはR1から開始
 ※R2 西武園記念を含む6開催が中止



本場売上について④(チャンネル別売上の推移・合計)

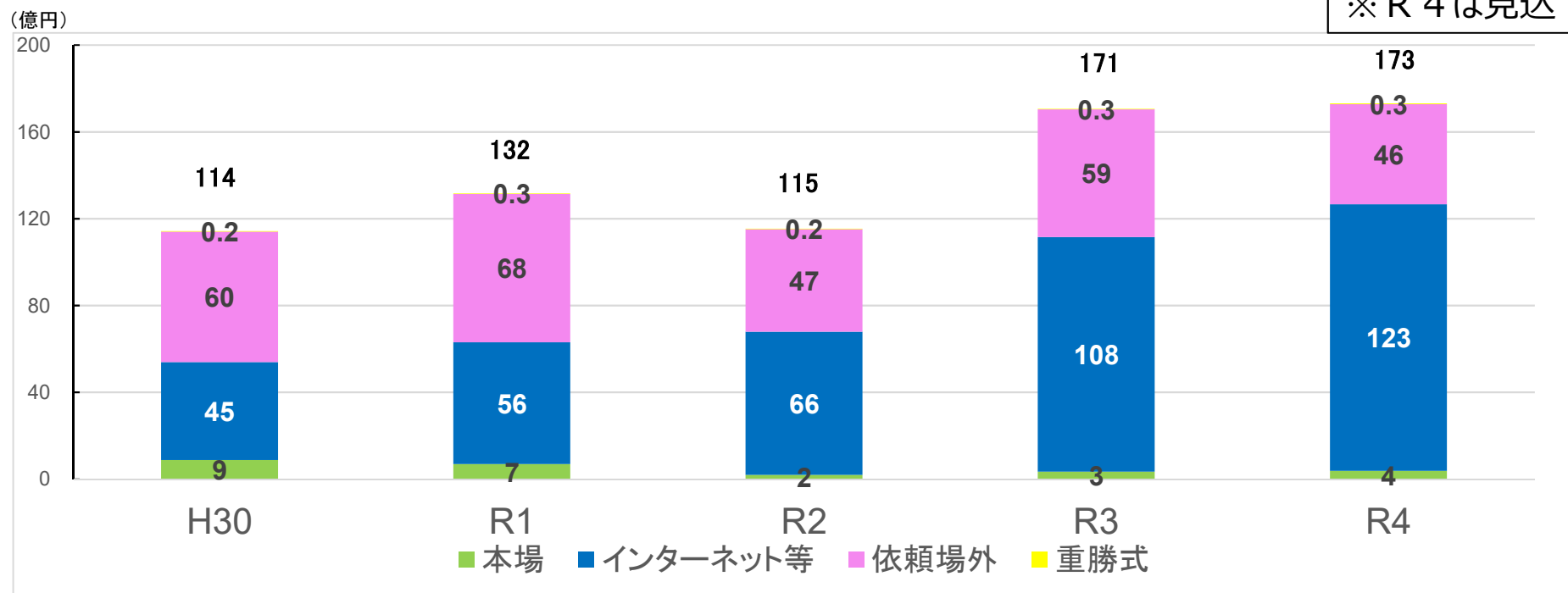
- コロナ禍による開催中止の影響で令和2年度は減少したが、その後増加傾向。
- インターネット投票の売上増が全体の売上増に大きく寄与。
- インターネット投票の割合は、平成30年度の46.3%から令和4年度(見込)75.4%へ上昇。

(億円)



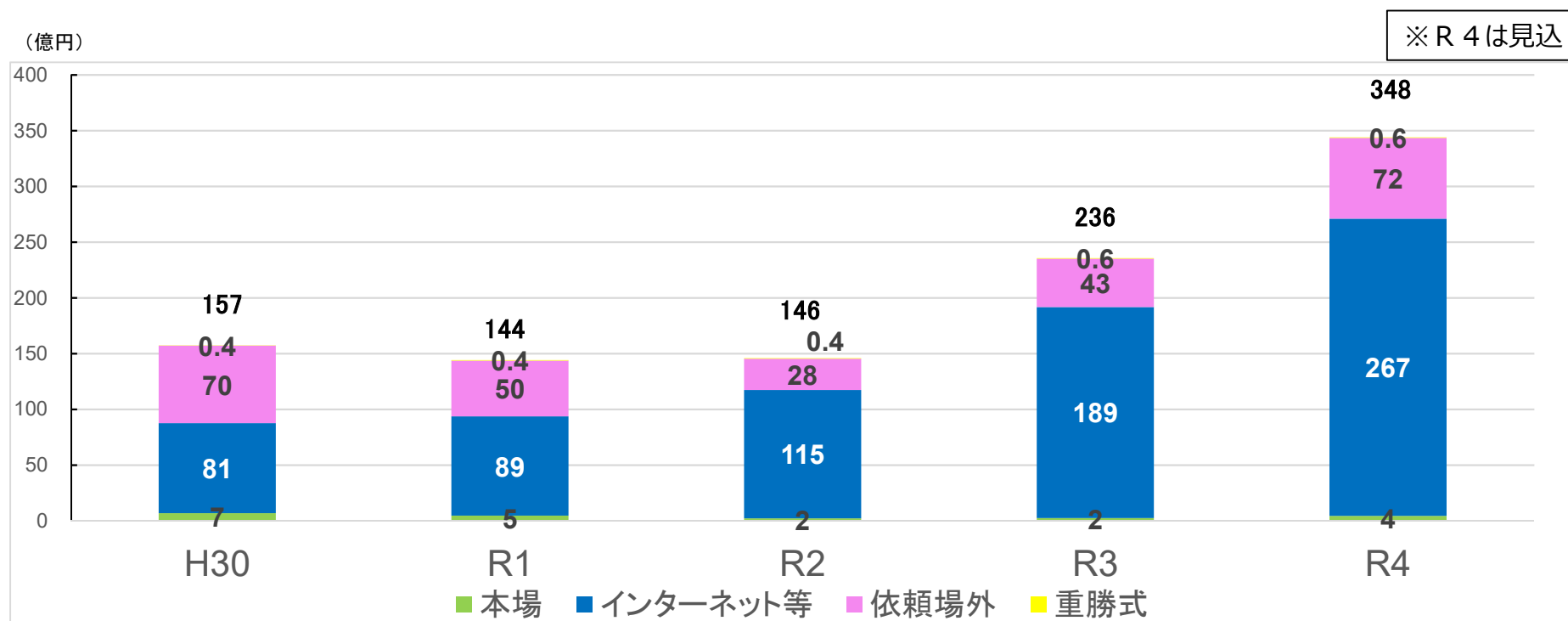
本場売上について⑤(チャンネル別売上の推移(大宮))

- 令和2年度はコロナ禍による開催中止があり売上は減少したが、その後は増加傾向。
- 令和4年度は依頼場外の売上が減少の見込みだが、インターネット等の売上が増加し、全体の売上も増加する見込み。



本場売上について⑥(チャンネル別売上の推移(西武園))

- 令和4年度はオールスター競輪(GI)開催の影響で売上が大きく増加。
- 全てのチャンネルで売上を伸ばしているが、その中でもインターネット等が増加。



当面の課題について ～埼玉県競輪事業検討委員会報告書から～

	課題	対応策
1	県収益の向上	<ul style="list-style-type: none"> ①売上が見込めるレースの誘致 ②投資効果を考えた集中的な投資 ③西武園の受託場外発売の開催調整の再検討 ④大宮、西武園の車券を販売する場外車券売場の増加 ⑤ギャンブル依存症に配慮した取組の充実
2	競輪事業の活性化	<ul style="list-style-type: none"> ①入場料の無料化 ②競輪初心者向けのイベント、演出の実施 ③競輪場内でアートなどをテーマにしたイベントの開催 ④競輪場内への人気飲食店やカフェの誘致 ⑤競輪を楽しめる演出の実施 ⑥団体客誘致のためのBOX席設置の検討 ⑦地元を拠点としたエンターテインメント企業との連携 ⑧スポーツ・バーと連携したネット車券販売の展開 ⑨学校との連携 ⑩競輪選手の意見を反映した取組の実施 ⑪大宮双輪場の大宮公園との一体化
3	イメージアップ	<ul style="list-style-type: none"> ①スポーツとしての競輪の魅力発信 ②自転車競技の普及に向けた取組の充実 ③社会貢献のアピールの継続的な実施 ④目的、方向性を掲げた事業の実施 ⑤Jリーグのブランディングの研究

課題への対応①

1 ②投資効果を考えた集中的な投資

■ 取組概要

- ・防犯カメラの更新（デジタル化）、設置場所変更による警備体制の見直し

■ 成果

- ・カメラの精度、機能向上によるセキュリティ強化の実現。
- ・警備体制の見直しによる警備費用の削減。（約4000万円／年）

■ 設置写真例

【旧監視カメラ】



【新監視カメラ】



【旧監視モニター】



【新監視モニター】



課題への対応②

1 ③西武園の受託場外発売の開催調整の再検討

■ 取組概要

西武園競輪場は近隣競輪場との距離が近く、入場者が分散してしまうことで売上減少のリスクがあることから、受託場外発売（GP、GI、GII除く）については、同一レースを売ることが無いように事前に調整をしてきた。

効果検証が必要との御意見を踏まえ、令和4年度は3開催を同時発売し、売上実績を検証した。

■ 結果

	日程	開催	入場者(人)	入場者平均(人)	節合計(円)	1日平均	備考
FI (カップ戦)	6/1~6/3	川崎FI(JC)	1,677	559	13,300,000	4,433,333	
	8/1~8/3	松山FI(JC)	1,240	413	10,086,700	3,362,233	全日、熱中症警戒アラート発令日
	開催調整したカップ戦の平均		—	622	—	4,532,752	
	日程	開催	入場者(人)	入場者平均(人)	節合計(円)	1日平均	備考
GIII	2/9~2/12	静岡記念(GIII)	2,680	670	22,175,200	5,543,800	初日は西武園本場開催。2/10の天候は雪
	開催調整したGIIIの平均		—	833	—	7,749,755	

■ 今後の展開

同時発売した全ての開催で、開催調整した開催と比べて、入場者数、売上とも減少した。

しかし、今年度の対象開催は特殊要因もあり、開催調整の効果について断定できないため、来年度も引き続き分析を進める。

課題への対応③

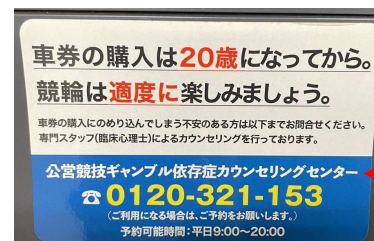
1 ⑤ギャンブル依存症に配慮した取組の充実

■ 取組概要

- すべての投票機に注意を促すステッカーを貼付。
- チラシ、ポスター及び場内放送において注意喚起。
- 「埼玉県ギャンブル依存症専門会議」に構成員として参画し関係者と情報共有を実施。
- 県の規則に基づき、ギャンブル依存症の男性1名に対し、競輪場等への入場禁止措置を実施（家族からの申し出による。県の規則に盛り込まれた平成30年以降初の適用事例）。

■ 今後の展開

- 業界と足並みを揃えて、周知啓発を強化し、相談があれば入場禁止措置を含めて対応する。



車券の購入は20歳になってから。
競輪は適度に楽しみましょう。



課題への対応④

2 ① 入場料の無料化

■ 取組概要

- ・ 本場開催時にお客様の入場時に徴収してきた100円の入場料を無料化（2月議会で条例改正）。
- ・ 無料化を見据え、大宮公園でのイベント開催時に、場内でもファミリー層が楽しめるイベントを開催した。

■ 今後の展開

- ・ 大宮・西武園競輪場の近隣に無料化に関するチラシを配布して来場を促す。
- ・ これまで競輪に親しみのなかった方々にも楽しんでいただけるイベントを本場開催中に実施する。
- ・ こうした取組により、競輪場入場者の高齢化・固定化に歯止めをかけ、女性や若年層、ファミリー層などの新規顧客を呼び込み、競輪場の活性化を図る。

【令和4年度に行った無料化を見据えた取組】

令和4年11月、大宮公園内で実施された「かいぼり祭り」の機会を捉えて、競輪場で現役選手によるバンク走行の披露や、モニターで競輪の疑似体験ができるサイクルタイムトライアルなどのイベントを実施。かいぼり祭りのために公園を訪れた多くの家族連れや若い方が競輪場にも入場して飲食やイベントを楽しんだ。

※このイベントは場外開催日に実施。普段の2倍となる約1,900人の集客に成功。

来年度以降、入場無料となる本場開催日にも新規のお客様向けのイベントを実施する。これをきっかけに多くの方に来場していただき、競輪の一番の魅力である生の迫力あるレースを観ていただき、ファンになっていただく。



課題への対応⑤

2 ②競輪初心者向けのイベント、演出の実施

■ 取組概要

団体利用の募集を2月からHPで開始。希望者には解説者（元選手）による解説付き。

1 対象日 令和5年4月以降の大宮、西武園競輪場の本場開催日（日中、ナイター開催）

2 人数 15名以上（大宮70名まで、西武園50名まで）

3 利用場所

- ・ 大宮競輪場 第1コーナースタンド4階 1D投票所
- ・ 西武園競輪場 第3コーナースタンド クイーンルーム西投票所

4 利用料

1000円/人（解説者付きは500円/人 追加）

※お弁当、飲み物（お茶）、競輪新聞付き

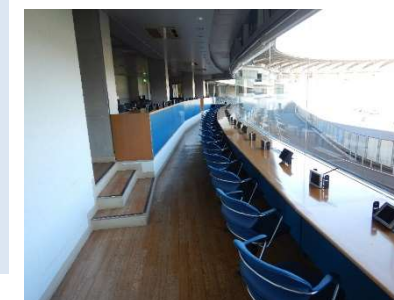
■ 今後の展開

初心者でも楽しめるように内容のブラッシュアップを重ね、会社単位などグループ利用の促進を図っていく。

2 ⑥団体客誘致のためのBOX席設置の検討



大宮競輪場1D投票所



西武園競輪場
クイーンルーム西

課題への対応⑥

2 ③アートなどをテーマにしたイベントの実施

■ 取組概要

- ・ 障害者アート展示の実施（旧 3 A投票所窓口壁面）
- ・ 作品の展示を通して、障害者の活動や社会進出に対する来場者の理解を深めるとともに、競輪事業の社会貢献をアピール。
- ・ クオカード 200 枚を制作し、CS放送の視聴者プレゼントに使うなど活動の P R を実施。



～5名の作品～



～CS放送にて紹介～

■ 今後の展開

- ・ アートの展示数を増やすなど、障害者アートとの連携企画を積極的に進めていく。

3 ③社会貢献のアピールの継続的な実施

3 ④目的、方向性を掲げた事業の実施

※敬称略



作 岡田亜弓



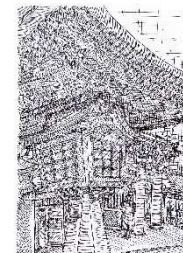
作 ヤマダジュンヤ



作 コバヤシカオル
クオカード採用



作 並木信弘



作 高野博史

課題への対応⑦

2 ③アートなどをテーマにしたイベントの実施

■ 取組概要

- ・ 西武園駅から西武園競輪場までの通路で、12/19～26の期間、クリスマスイルミネーションを実施。
※本場開催：12/19～21（FⅡナイター）、12/24～26（FⅠナイター）
- ・ 近隣住民向けにイルミネーション実施のチラシをポスティング
- ・ チラシ持参者への抽選会の実施
- ・ チラシ持参者の中には、車券購入方法の問い合わせもあり、競輪場の活性化に一定の効果あり。



～イルミネーション装飾全景～



～通路内の様子～



～抽選会の様子～



■ 今後の展開

イルミネーションに限らず、季節に合った催し物を開催していくよう取り組みたい。

課題への対応⑧

2 ⑦地元を拠点としたエンターテインメント企業との連携

■ 取組概要

大宮よしもと劇場に出演する「大宮セブン」に所属する芸人を起用したプロモーション等を実施した。

- ・ テレビ埼玉番組「それゆけ！大宮セブン」において、競輪企画を2回（オールスター、大宮記念時）放送。
- ・ 大宮記念開催時に「ジェラードン」による、お笑いライブを実施。



～「それゆけ！大宮セブン」撮影風景～



～「ジェラードン」お笑いライブ～

■ 今後の展開

地元にゆかりのある芸能人を起用することで競輪を知る、または競輪場に来場するきっかけとなったため、引き続き実施していきたい。

課題への対応⑨

2 ⑨学校との連携

3 ①自転車競技の普及に向けた取組の充実

■ 取組概要

- ・ 県青少年課と連携し、「プロ選手から学ぶ！競輪と自転車競技！」を実施。青少年課が他の同趣旨の事業と一体的な広報を実施することで広く事業を周知。
- ・ 大宮記念競輪開催時、埼玉県高等学校体育連盟自転車専門部と連携し「第3回埼玉県高等学校選抜ケイリン大宮記念杯」を実施。



■ 当日の様子

- ・ 職業体験は、普段見ることのできない練習場や現役選手の模擬レース等が参加者から好評（参加者52名）。
- ・ 高等学校選抜ケイリンは、各校より選抜された7名による白熱したレースに大宮記念来場者からも熱い声援が飛び交うなど多くの来場者が興味を持っていた。

■ 今後の展開

職業体験は参加者の増加を目指す。選抜ケイリンは、このレースがプロ選手を目指す高校生の目標になるよう更なる発展を図る。

課題への対応⑩

⑩競輪選手の意見を反映した取組の実施

■ 取組概要

- 選手会との意見交換の中で、「競輪の魅力を伝えることができる機会があれば協力したい」との話を受け、各種イベント等において、現役選手が直接競輪の魅力を伝える取組を実施。
- 「プロ選手から学ぶ！競輪と自転車競技！」や大宮公園でのかいぼり企画時に選手の練習公開（選手解説付き）を実施。
- 各種イベントに出展し、自転車ゲーム（サイクルTT）を実施。



■ 成果

- かいぼり企画時は場外開催にも関わらず入場が約1900人。（休日の場外発売平均入場者数（大宮）：935人）
- 各種イベント時に実施した自転車ゲーム（サイクルTT）参加人数は以下の通り。

スーパーキッズフェスタ：775名（2日間）、埼玉クリテリウム：315名（2日間）、埼玉フェスタ：126名

■ 今後の展開

今後も選手会と密にコミュニケーションをとり、選手の意見を取り入れて、様々な取組を実施していく。

課題への対応⑪

3 ③ 社会貢献の継続的なアピール

3 ⑤ Jリーグのブランディングの研究

■ 取組概要

- ・ Jリーグのブランディングの研究として、totoやBIGなどのスポーツじ実施主体である独立行政法人 日本スポーツ振興センターのプロモーションに関する取組を研究したところ、収益の社会還元に対する認知度向上のためのプロモーションに力を入れて取り組んでいることが分かった。
- ・ 同センターの取組を参考に、来場者アンケートで競輪の収益が地方財政健全化に役立てられていることに関する認知度調査を実施。

■ 結果

若年層を中心に必ずしも認知度が高い状況ではない。

Q.競輪の収益の一部が以下の事業等に使われていることを知っていますか。 地方財政の健全化(埼玉県財政の健全化)	全体	年齢									
		10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代以上	無回答
標本数	201	0	18	16	42	49	33	37	5	1	0
知っている	139	0	8	9	30	28	29	32	2	1	0
知らない	62	0	10	7	12	21	4	5	3	0	0
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
認知度	69.2%	0.0%	44.4%	56.3%	71.4%	57.1%	87.9%	86.5%	40.0%	100.0%	0.0%

■ 今後の展開

埼玉県が制作するレース映像にテロップ等で競輪事業の収益の一部が地方財政健全化や機械振興等に役立てられていることを表示するなど、車券購入者の認知度を高める取組を実施していく。

中長期的な課題について

- 県議会（令和5年2月定例会）において、「令和5年度埼玉県一般会計予算（案）」に対して、以下のとおり、事業執行に適切な対応を求める付帯決議が付された。

■ 付帯決議の内容

大宮公園陸上競技場兼双輪場については、老朽化により陸上競技場としての機能は既に喪失しているとともに今後のコスト増大が明らかであり、大宮スーパー・ボールパーク構想の阻害要因となっている。

大宮公園陸上競技場兼双輪場の使用期限を明確にするとともに、民間資金・ノウハウを活用した施設整備を前提に検討し、それらを活用できない場合は一場体制も視野に期限を決めて検討すること。

■ 今後について

- ・ 検討委員会においても、施設の老朽化への対応など中長期的な課題について検討事項として議論していただく。